

寒い日が続いたと思ったら急に暖かになりました。各地で梅も咲いたようです。もうすぐ春ですね。花粉対策をしましょう。

／／／／ I N D E X －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

- ・ ISO 関連解説-----ISO14064-1 から GHG プロトコルへの要望
- ・ LCA の実務 mini 40---CCU の CO2
- ・ LCAF からお知らせ---3/18LCAF オンライン実務者研修のご案内
賛同会員募集中
- ・ 編集後記-----やせうま

■■ ISO 関連解説：ISO14064-1 から GHG プロトコルへの要望 ■■

いままでもお伝えしているように、ISO14064-1 (組織の GHG) の改訂は、GHG プロトコルの主導で行われることになりました。そこで、ISO 側から GHG プロトコルのワーキンググループ (WG) に派遣する代表者を決めるための投票が各国のエキスパートにより行われ、私 (稲葉) もその一人に選任されました。2月11日に GHG プロトコルとのキックオフが行われましたが、議論に使われる文書の取り扱い説明 (たとえば秘密保持など) だけで、具体的な議論が始まっていません。

一方、この ISO14064-1 の改訂を行う SC7/WG4 の WG で、電力の扱いで GHG プロトコルに要求する事項を整理する議論が行われました。そこでは以下の7つが提案されています。①共通の用語を使うこと、②ロケーションベースを基本として、マーケットベースをオプションとすること、③マーケットベースを使う時の再生可能電力証書などの基準を明確にすること、④消費電力の集計は年間を基本とし、月ごとの報告を推奨すること。時間ごとの報告を必須としないこと。⑤従来の LCA での算定方法を採用し、コンセクエンシャル LCA での算定などを枠外とすること、⑥すでに算定している事業者を保護するために、新しく決めるルールの適用期間に猶予を持たせること、⑦基準供給システム (Standard Supply Service (SSS)) の考え方が不透明なので、さらに議論を尽くすこと。

SC7/WG4 は2月5日の WG で、「GHG プロトコルの議論とは別に独自で、今作成中の ISO14064-1 の改訂案を速やかに作ること」を合意しました。その過程で、上記の6つの事項も修正される可能性があります。まだまだ議論を続ける段階です。皆さんのご意見も教えてください。私の考え方の整理に役立つと思います。

■■ LCA の実務 mini 40 : CCU の CO2 ■■

最近、火力発電所などの煙道の CO2 を使った CCU (Carbon Capture & Utilization: CO₂回収・利用技術) の相談を2件受けました。「排ガス中の CO2 は、『CO2 ゼロ』としてよいか？」という質問です。私の回答は「上流の火力発電所で CO2 排出量をカウント (たとえば、SHK 制度 [温暖化対策法の報告制度] で、排出として報告) していれば、あなたが使う CO2 は「CO2 ゼロとして」使えますが、上流の火力発電所が、あなたが使うことを理由に自分の CO2 排出としてカウントしていなければ、化石燃料由来の CO2 としてカウントしなければなりません」ということです。すなわち上流の CO2 排出者との協議が必要です。

その上で、液化 CO2 やドライアイスを購入する場合には、LCA の算定としては、液化や固体化のためのエネルギー由来の CO2 を利用側で加算することが必要になります。「利用するために必要なエネルギーだから」という考え方です。

さらに、今後の課題としては、液化 CO2 やドライアイスを製品とみて、それらを製造するときの CO2 排出量をそれらの製品に配分するという考え方があります。この配分を行うと、主製品であるアンモニアなどの CO2 排出量が小さくなるからです。

CO2 を使う CCU 技術の普及によって、国の報告制度も変化しています。注意したいと思います。

■■ LCAF からのお知らせ：3/18LCAF オンライン実務者研修など ■■

○3月18日 (水) 午後に実務者研修を行います。

・昨年度に始めた「LCAF 実務者研修シリーズ」の3回目です。廃プラスチックの利用や削減貢献量の評価はコンセクエンシャル LCA で行うという意見があります。コンセクエンシャル LCA や、

循環型社会とサーキュラーエコノミーの関係、また2月～3月のイベントの内容も加えてマスマランスモデルに関する最近の活動を整理します。「LCAF 実務者研修シリーズ」ではLCAに関する最先端の活動や話題を紹介し、今後の展望を皆さんと議論します。もうすぐLCAF ホームページでご案内します。LCAに関する最新の情報を整理する機会としてご利用ください。

○賛同会員を募集中です。

・研修や特別セミナーの割引などの特典があります。新年度に向けて3月中の入会をご検討ください。

<https://lcaf.or.jp/>

<https://lcaf.or.jp/support-members/>

○[再掲です] グリーンウォッシュの本を和訳しました。

・「地球にやさしい?一偉大なるグリーンウォッシュ」が丸善出版からでました。3,190円(税込)です。書評(感想文)を募集中です。まだ1件しか来ていません。ご協力をお願いします。

○[再掲です] 新しい参考図書「基礎から学ぶLCA～LCAの実施と活用～」を発行しました。

以下からお申込みください。(3,000円+税+送料)です。

<https://lcaf.or.jp/education/textbook/>

■■ 編集後記：やせうま ■■

甘いものが好きです。2005年に煙草をやめ、2017年に酒をやめてからますます甘いものが好きになりました。

昔は「男子たるもの甘味が好きとは言えない」雰囲気がありましたね。大学院生の頃に東京駅八重洲口の甘味やさんの息子さんの家庭教師をしたことがあります。夕食はお店で、やきうどんとおでんと茶飯をいただきました。デザートは食べ放題でしたが、女性に囲まれてぜんざいを食べるのは恥だと思っていました。

こしあんよりも粒あんが好きです。大阪道頓堀の夫婦善哉、伊勢の赤福のぜんざいなど地方の有名なものは、いつも期待をうらぎらない味ですね。福岡空港では梅が枝餅を買います。温かいのがあるとうれしいです。福岡には宮地嶽神社の松枝餅もあります。梅が枝餅とそっくりです。最近、有名なものは東京でもデパ地下で買えるようになりました。このご時世ですので、少しの値上げは仕方ないでしょうか。。。

きな粉と砂糖の甘味も好きです。いわゆる「わらび餅」ですね。地方ごとにいろいろあります。葛餅もありますね。地方に行って、私が知らなかった珍しい甘味に会うとうれしいです。

別府から湯布院に行く国道沿いのごく普通のレストランで「やせうま」を発見しました。練った小麦粉を平たくのばしてゆでたものに、きなこをまぶしてあります。昔からの質素なお菓子のようです。ネーミングが素晴らしいです。農水省のホームページを見ると、「平安時代、信仰心の厚い乳母の八瀬(やせ)が、貴族の若君の健やかな成長のために、古野(由布院の近く)にある妙蓮寺へ参拝に向かった。その道中、お腹がすいた若君が、「八瀬(やせ)、うま(「うま」は幼児期特有の言い方で、食べ物を指す)」といい、その度に八瀬が小麦粉を薄くのばしてきなこをまぶしたものを若君に食べさせたことから、「やせうま」と呼ばれるようになったといわれている。」やせうま。もう一度食べに行きたいです。

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

ご意見、ご感想、この「LCAF 通信」の配信停止のご連絡はこちらまで

lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本LCA推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで(読んで)ください)

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-2 渡辺ビル5F

電子メール: a.inaba@lcaf.or.jp

電話: 090-1423-0863

URL: <http://lcaf.or.jp/>

